

災害時における円滑な燃料供給体制実現に向けた検討会（第2回）  
議事要旨

日時：平成31年1月30日（水）10:00～12:10

場所：北海道経済産業局 第1会議室

【参加機関】

J X T G エネルギー株式会社 北海道支店  
出光興産株式会社 販売部 北海道支店  
北海道石油業協同組合連合会  
一般社団法人北海道L P ガス協会  
公益社団法人北海道トラック協会 タンクローリー一部会  
一般社団法人北海道医師会  
東日本電信電話株式会社 北海道事業部  
株式会社N T T ドコモ 北海道支社  
北海道放送株式会社  
札幌テレビ放送株式会社  
北海道

【事務局】

経済産業省北海道経済産業局

【議事】

(1) 第1部

- ・ 北海道胆振東部地震発生後の燃料供給に係る消費者側から見た課題  
（説明者：一般社団法人北海道消費者協会）
- ・ 意見交換

(2) 第2部

- ・ 関係機関へのヒアリング結果（中間報告）等について（説明者：事務局）
- ・ 北海道胆振東部地震後の燃料供給に係る新たな取組について（説明者：参加機関）
- ・ 意見交換

【意見交換の主な内容】

- ・ SS への非常用発電機の導入促進及び灯油等配送用デリバリーセンター（供給の中継基地）への非常用発電機の拡充を検討している。

- ・ 住民拠点 SS の増設については、非常用発電機を備えた S S が少ない地域を考慮しながら進めていくことになる。
- ・ 災害時に中核 SS は、緊急車両などの災害対応車両を優先給油対象としていることを、一般来客者に理解を求めるための説明方法の改善を検討している（緊急車両が一般需要の車列に割込みしづらいついた状況を回避する為）。
- ・ タンクローリー及び災害時重要施設が保有する車両の、緊急通行車両の事前届出について早急に検討をすすめていく。
- ・ 中核 SS における優先給油の対象車両に関して、緊急通行車両確認標章の交付を受けた車両のみならず、緊急通行車両等事前届出済証の交付を受けた車両についても、優先給油の対象に追加することを検討してほしい。
- ・ 災害時重要施設における非常用発電機の拡充を検討している。
- ・ 中核 SS 及び住民拠点 SS など、災害時における燃料供給体制について、一般消費者に対して平時から情報を発信してほしい。
- ・ 災害時における社内連絡体制及び災害対応マニュアルの整備を実施している。
- ・ 災害時における北海道の各振興局と各地方石油業協同組合との間の連絡体制の整備を実施している。

以 上